

## 情報公開文書

研究の名称	ヒトゲノム解析による日本人2型糖尿病患者の発症および重症化（血管合併症を含む）に関する遺伝素因を解明する研究-10年後フォローアップ
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者	富山大学学術研究部医学系人間科学2講座 教授 岩田 実
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b>            前回研究「一塩基多型を利用した全ゲノム解析による日本人2型糖尿病・リウマチおよび類縁疾患・喘息原因遺伝子の同定」承認番号 遺認19-8（遺変29-12）に登録した外来2型糖尿病患者1008例、健診対照被検者999例</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b>            日本人における2型糖尿病および併存症（肥満症、脂質異常症、高血圧症）の遺伝素因、SNPが発症・病態、重症化、血管合併症の発症に及ぼす影響を明らかにします。本研究により日本人における2型糖尿病の遺伝素因の全体像が明らかとなれば、疾患発症前にリスクの高い症例に対して生活習慣の改善等の有効な予防策を講じることやインスリン分泌能等の疾患の病態を遺伝素因に基づいて評価し、より適切な治療選択を行うことが現実的となることから、糖尿病診療が大きく進歩することが期待されます。</p> <p><b>【研究の方法】</b>            1) 先行研究で採取済みDNAサンプルを用いて、2型糖尿病に関連する新規SNPに対するリスクアレルの有無を評価します。            2) 研究対象者のうち現在の診療情報が追跡可能な方について富山大学附属病院および研究協力機関の診療録、健診記録から次項の診療情報を取得します。</p> <p><b>【研究期間】</b>            実施許可日から2028年3月31日まで</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b>            代謝内分泌分野における国内外の学会、医学雑誌で発表します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	<p>診療目的に取得された以下の既存情報を研究に使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者基本属性（年齢、性別）、BMI、腹囲、HbA1c、空腹時血糖値、空腹時インスリン（IRI）値、空腹時C-ペプチド（CPR）値、中性脂肪、総コレステロール、LDLコレステロール、HDLコレステロール、肝機能、腎機能、既往歴、糖尿病合併症、併存症、処方薬等</li> </ul> <p>また、先行研究で採取済み血液検体、DNAサンプルを用いて新規SNPについて解析を行います。</p> <p>以上の情報からGRSと糖尿病病態との関連を解析します。</p> <p>（他機関への試料・情報提供なし）</p>
試料・情報の利用または提供を開始する予定日	2023年9月1日
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	高岡ふしき病院 高嶋修太郎 済生会高岡病院 川端 雅彦 南砺市民病院 清水 幸裕 あさひ総合病院 東山 考一 糸魚川総合病院 山岸 文範 あおい病院 五十嵐 保史 アメニティ月岡 多喜 和子 飛騨市民病院 黒木 嘉人

	桜井病院 岡澤 光代 北陸中央病院 清水 淳三
研究に用いる試料・情報 を利用する者の範囲	富山大学附属病院、富山大学医学部に所属する研究責任者および研究分担者
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者	富山大学附属病院 病院長 林 篤志
研究対象者、親族等関係 者からの相談等への対応 窓口	研究対象者、親族等関係者の方より本研究からの除外を希望する申し出があった場合、試料・情報の利用又は提供を停止します。除外を希望される方は下記の窓口までご連絡ください。研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等についても下記の窓口で対応いたします。 富山大学附属病院 臨床研究開発推進センター 特命講師 岡部 圭介 電話 076-434-7287 FAX 076-434-5025 E-mail ksuke71@med.u-toyama.ac.jp

2025年2月25日 第1.1版